

h21計画 問題1

建築設計の手法等に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- | | |
|---|--|
| 1 | 建築物の設計に当たっては、建設予定地や類似施設の調査を行い、利用者の潜在的な要求の把握や将来の建築物に対する要求の変化を予測することが重要である。 |
| 2 | 建築物の設計に当たっては、可能な限り環境負荷を小さく抑え、再利用・再生が可能な資源・材料を使用し、建築の生涯の資源消費を最小限に留めることが望ましい。 |
| 3 | 公共建築物のロビー等の人が集まる空間における規模・寸法や家具配置を計画するに当たっては、一般に、パーソナルスペースに配慮することが重要である。 |
| 4 | パッシブデザインは、対象地域の気候や風土を十分に把握した上で、特別な装置や動力を用いた機械的手法を主体として、暖房効果、冷房効果、照明効果等を積極的に得ることを意図した設計手法である。 |

解答（正解肢4）

- | | |
|---|--|
| 1 | <input type="radio"/> 建築物の設計は、建設予定地や類似施設の調査を行い、利用者の潜在的な要求の把握や将来の建築物に対する要求の変化を予測し、それらの要因を踏まえて設計することが重要である。 |
| 2 | <input type="radio"/> 建築物の設計は、ライフサイクルマネジメントの考え方である、可能な限り環境負荷を小さく抑え、再利用・再生が可能な資源・材料を使用し、建築の生涯の資源消費を最小限に留めることが望ましい。 |
| 3 | <input type="radio"/> 公共建築物のロビー等の人が集まる空間における規模・寸法や家具配置を計画するには、パーソナルスペース(人が他人と接するとき無意識に相手と距離を保とうとする領域)に配慮することが重要である。 |
| 4 | <input checked="" type="radio"/> 機械的手法はアクティブデザインであり、パッシブデザインは機械的手法を取らない方法(例えば太陽熱を躯体に蓄熱させて夜に自然と放熱させて利用するなど)を取り入れた設計手法である。 |